

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 ( 3-3 )

団体名	特定非営利活動法人 TEAM・あげあげ	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 高橋 徹
事業名	合言葉は「地域での繋がり」		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」「毎 ○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
毎月第4火曜日	加古川かこむ	会員	法人定例会議(11回)
毎月第4木曜日	弁財天厚生館	会員	TEAM-3A定例ミーティング(14回) 他の曜日に追加あり。
4月2日(日)	西宮マリナパークシティ	4名 (67名)	オリジナル防災ゲーム「あにまらず」体験会
6月11日(日)	明石市山ノ下公民館	6名 (32名)	オリジナル防災ゲーム「あにまらず」体験会
7月1日(土)	兵庫大学	4名 (1名)	第1回大学との連携協議
7月2日(日)	明石市立鳥羽小学校	10名 (120名)	みんなで考えよう 西明石のこれから
7月15日(日)	パピオスあかし	8名 (39名)	明石市新庁舎に関するワークショップ
7月17日(月)	ウイズあかし	3名 (7名)	夏の学び発見市(YouTube配信)
7月23日(日)	加古川かこむ	2名 (24名)	はりまADDM大人の発達障害当事者会
7月29日(土)	高砂市伊保中部自治会館	3名 (10名)	ふれあいカフェ
8月6日(日)	明石市中谷公民館	6名 (19名)	高齢者サロン「ふれあいサロン中谷」
8月10日(木)	明石市立鳥羽小学校コミセン	6名 (4名)	あかしの未来を担うユース育成プロジェクト第3回暴動連絡会
8月18日(金)	パピオスあかし	10名 (30名)	明石市タウンミーティング「若者会議」
8月19日(金)	特別養護老人ホーム清華苑	7名 (16名)	高齢者カフェ交流会
9月2日(土)	IHDセンター	6名	災害メモリアルアクションKOBEBEキックオフ

9月10日(日)	明石公園	8名 (26名)	Bright Stone Works
10月1日(日)	舞子公園	6名 (35名)	うみかぜ音楽祭
10月22日(日)	特別養護老人 ホーム松竹園	8名 (49名)	第3回Beautiful Harmony
10月29日(日)	シャルマンコー ポ明石	6名 (33名)	シャルマンコーポ明石自治会防災研修会
11月4日(土)	IHDセンター	4名	災害メモリアルアクションKOB E 中間発表会
11月5日(日)	明石市総合福 祉センター	4名 (67名)	あかしボランティアフェスタ
11月19日(日)	明石市立二見 小学校	8名 (68名)	明石市防災訓練
11月25日(土)	明石市立松が 丘小学校	6名 (49名)	松が丘小学校区防災訓練
11月28日(火)	兵庫大学	2名 (1名)	第2回大学との連携協議
12月8日(金)	明石市立鳥羽 小学校コミセン	7名 (3名)	あかしの未来を担うユース育成プロジェクト第5回合同連絡会
12月10日(日)	ウイズあかし	6名 (18名)	ウイズフェス「みんなの学校」
12月17日(日)	明石市立和坂 小学校コミセン	6名 (32名)	虹の会防災研修会
12月23日(土)	兵庫県公館	5名	令和5年度ぼうさい甲子園表彰式
1月6日(土)	人と防災未来セ ンター	7名	災害メモリアルアクションKOB E 活動発表会
1月17日(水)	明石市弁財天 厚生館	3名 (3名)	あかしの未来を担うユース育成プロジェクト第6回合同連絡会
2月10日(土)	明石市弁財天 厚生館	6名 (28人)	沢池小学校区ボランティア交流会
2月15日(木)	明石市立鳥羽 小学校	7名 (116名)	鳥羽小学校防災授業(5年生対象)
2月18日(日)	明石市魚住市 民センター	6名	明石市タウンミーティング「地域編:魚住」

< 効果と成果 >

「地域での繋がり」をテーマに2年間の活動期間が過ぎようとしているが「まちづくり」の意義を伝えることの難しさを感じるが多かった。主に明石から高砂市に至る3市2町の東播磨地域で2030年代にこの国に訪れる少子高齢化、生産人口減少、南海トラフ巨大地震の発生を実感されていないことが最大のネックと言える。特に地域との協働を図るための高齢者カフェの開催や交流会の計画についても理解を深めたとまでは言えない。

しかしながら明石市を中心に地道に活動を続けてきたユース世代の認知度が上がっていることを実感する。若い世代の育成こそが「まちづくり」の最大の目的であることも少しずつであるが理解されるようになってきた。

次年度はこのテーマの結びの年になるが、明石市以外の高砂、加古川両市でもユース世代のグループ形成に向けた動きをスタートすることになった。紆余曲折はあったがスタートラインに立つことができたことは一つの成果と言える。

< 今後の展望 >

1 今後の課題

「まちづくり」に10代～20代のユース世代の発想を取り入れていく必要があること。

2 今後の取組み

(1)地域の人たちにユース世代の育成の重要性を理解してもらう。

(2)各地域で活動できるユース世代を地域づくりの担い手として発掘する。

以上の点について地域との連携において取り組んでいく。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	250,000
入会金・会費	6,193
自己資金	0
合計	256,193

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	旅費交通費	156,200	153,500
	備品	10,319	10,319
	広報費	6,160	6,160

	その他（謝金等）	7,000	6,000
	小 計	179,679	175,979
間接経費（一般管理費）		76,514	74,021
合 計		256,193	250,000